

令和4年度第2回図書館協議会議事録

1 開催日時 令和4年11月19日（土）午前10時～12時

2 開催場所 浦安市立中央図書館2階 視聴覚室

3 出席者

(委員) 押樋委員長 西村副委員長 遠藤委員 沼委員 高橋委員 松本委員
館委員 澁谷委員 堀内委員

(事務局) 中央図書館長 中央図書館副館長 総務係長 レファレンスサービス係長
総務係主任司書

4 傍聴人 1人

5 議題

報告事項

- (1) 令和4年度上半期利用統計及び事業報告について
- (2) 令和4年度図書館自己点検評価について
- (3) 決算委員会について

6 議事の概要

報告事項

- (1) 令和4年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
- (2) 令和4年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- (3) 決算委員会について、事務局より報告を行った。

7 会議経過

報告事項

- (1) 令和4年度上半期利用統計及び事業報告について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) リクエストの件数について、明海大学が0件となっているが理由は何か。

(回答) 上半期は明海大学から借用して対応したリクエストがなかったということである。

(質問) 昨年度や一昨年度の実績はどうか。

(回答) 件数は多くはないが、借り受けした実績はある。専門的な資料などにニーズがある。

(意見) 市外の図書館からも借りられること等、図書館のネットワークについての周知が足りないように感じる。

(回答) リクエストの受付時に市立図書館で所蔵がない場合には、市外の図書館からも借りられることは案内しており、図書館ホームページでもその旨を周知している。

(意見) ホームページだけでなく、アナログの形でも周知をしてほしい。以前はサービスごとにその内容を紹介した紙の利用案内があったと思うが、その後増刷もなく、配布されていない。年代によっては紙の情報が必要なことも多い。そういった視点も持ってほしい。

(質問) 明海大学の学生の利用状況はどうか。日本人以外の学生も多いと思われる。

(回答) 年度初めに新入生向けに利用案内を実施している。外国人学生にもよく利用されている。

(2) 令和4年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

意見(質問) はなし。

(3) 決算委員会について、事務局より報告を行った。その際に表明された意見(質問) は次のとおり。

(質問) 決算委員会では質問以外に、提案や意見は出なかったのか。

(回答) 新型コロナウイルス感染予防に伴うサービス制限時に実施した「としょかん絵本セット」について、通常時にも実施してはどうかという提案があった。入館制限時のサービスであり、通常開館していれば職員が書架をご案内できるため、直接問い合わせしてほしいと回答した。

(4) その他

以下のような意見(質問) があった。

(意見) 中高生の不読率が高いことがいわれるが、図書館にコーナーを設けるより、幼少期から本に親しむ経験をすることが大切だと思う。学校のよみきかせに行くとか、図書委員との連携などもしてはどうか。また、スマホが当たり前に使われているため、図書館アプリのようなものがあるといいのではないか。

(回答) 図書館アプリについては、すぐに導入はできないが、今後検討していきたい。本に触れる機会としては、保育園から小学校までよみきかせや本の紹介など、年1回は司書が出向くようにしている。

(意見) 学校図書館の紹介を中央図書館のワークスペースで実施するなど、公共図書館の司書と学校司書との交流を密にしてほしい。

(回答) 学校司書を対象とした研修の実施や市内高校の図書室を見学するなど、青少年向けサービスについてはそのあり方を検討しているところである。

(回答) 読書週間に合わせておすすめ本を紹介する企画を実施したが、中高生からも多くの反響があった。

- (意見) 夏休みのイベントの告知が遅かった。学校が休みに入る前にPRをしてほしい。
- (意見) 学習室を利用する若い人が多く、特にテスト期間中は満席になることも多い。ホームページなどを通じてリアルタイムでお知らせしてほしい。
- (回答) 学習室については図書館のツイッターで満席の際はツイートしているので、ぜひ利用していただきたい。また、図書館以外の公共施設にある学習コーナーも適宜案内していきたい。
- (質問) 学習室は時間制ではないのか。
- (回答) 時間制にはしていない。
- (質問) 本の取り寄せは統計に入っているのか。
- (回答) リクエストの件数に入っている。
- (意見) よく取り寄せられる本は分館でも購入するとより良いと思う。
- (意見) 学校図書館のシステムで市立図書館の蔵書が検索できると便利ではないか。
- (意見) 市立図書館が学校図書館のシステム構築に関わるとよいと思う。
- (回答) システムが異なるため一体化や連携には経費などの面でハードルは高い。市立図書館の検索システムはインターネットで公開しているので、学校図書館から市立図書館の蔵書がわかるような仕組みはある。
- (意見) ワークスペースでイベントを開催することが多いが、静かな図書館という考えの方がまだ多く、居心地が悪かった。多少にぎやかに、静かにしなくてもよい場所だというワークスペースの使い方についてもっと周知してほしい。
- (質問) 読書会の会員を増やしたいが、「広報うらやす」では扱いが小さい。図書館を通じてもっとPRできないか。
- (回答) いろいろな形での広報を検討していきたい。
- (意見) 学校では指導できないことも多い。ヤングアダルト世代へは学校に任せるのではなく図書館からも仕掛けて行ってほしい。
- (質問) 人材育成に関する計画はあるのか。
- (回答) 中期研修計画を定めており、児童やレファレンスなどサービスに係る研修、全職員を対象とした選書や接遇、危機管理の研修など、職階や経験も考慮して実施している。
- (意見) 全国的に研修計画を作成していない図書館も多いので、あると聞いてとても良いと思った。
- (質問) 中長期図書館計画はあるのか。
- (回答) 生涯学習推進計画のなかで位置づけているが、新型コロナの影響もあるため、全体的な見直しが必要と認識している。
- (意見) 浦安市の図書館の将来的な方向性を示していくことが重要である。今後はデジタルとリアルをあまり区別せずにサービスするなど、将来的な図書館の再定義をして中長期的な計画を考えていくことが大事ではないかと思う。
- (意見) 浦安市の図書館も非正規職員が支えている。実態を報告する機会があるとよい。
- (質問) 8月末の北朝鮮拉致問題に対する文部科学省からの「事務連絡」についてはどう扱っているのか。

(回答) 拉致問題についてはこれまでも重要なテーマと認識して、必要な資料の収集を行っている。事務連絡については蔵書構成グループを通じて全職員に周知したが、これを受けて何か特別なことはしていない。

以上